

第137回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収入金	売買目的有価証券	繰越商品	前払金
買掛金	未払金	前受金	仮受金
修繕引当金	資本金	資本準備金	その他資本剰余金
繰越利益剰余金	利益準備金	広告宣伝費	修繕費
有価証券利息	受取手数料	有価証券売却益	修繕引当金繰入
仕入	支払利息	有価証券売却損	創立費
開業費	株式交付費	研究開発費	本店
長谷部支店	大久保支店		

1. 株式会社ザックの本店は、長谷部支店が大久保支店の広告宣伝費 ¥ 140,000 を立て替え払いしたとの報告を受けたので適切に処理した。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 建物の修繕を行い、その費用 ¥ 400,000 は翌月末に支払うこととした。なお、この修繕に備えてこれまでに ¥ 250,000 の修繕引当金が設定されている。
4. 川島警備株式会社を設立し、定款に定めた発行可能株式総数 20,000 株のうち、12,000 株を 1 株 ¥ 30,000 で発行し、これらの株式について全額の当座預金への払い込みがあった。この株式に対する払込金額のうち、会社法の定める最低限の金額を資本金に組み入れた。なお、株式発行に伴い発生した諸費用 ¥ 500,000 と、設立に伴い発生した登記費用等 ¥ 400,000 は小切手を振り出して支払った。
5. 平成 26 年 7 月 20 日に、売買目的で購入していた柿谷製薬株式会社の社債(額面 ¥ 100 につき取得原価 ¥ 98.50、額面総額 ¥ 10,000,000) を、平成 26 年 12 月 8 日に、額面 ¥ 100 につき ¥ 98.20 で売却した。売却代金は端数利息とともに所定の営業日以内に当座預金口座に振り込まれることになっている。この社債の利払日は毎年 6 月末と 12 月末であり、社債の額面利率は年 2.19% である。なお、端数利息の計算期間は、前回の利払日の翌日から売却前日までの期間としている。